

コース名		科目名					対象学年
臨床医学		臨床実習入門					4
開講学期		科目責任者			副責任者		
2 学期		小賀 徹			桑原 篤憲		
目的							
臨床実習開始のために必要な医学知識・技能・態度や医療面接法を身につけ、共用試験 OSCE で評価するための必要な科目である。							
授業到達目標							
1. 医療面接から身体診察までの診療技能を修得することができる。 2. 採血をはじめ、臨床検査の手技と方法を修得することができる。 3. 超音波検査を含む画像診断の手技、方法、読影を修得することができる。 4. 外科的手技や救急蘇生術を修得することができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1~102	11/5 ~11/28	火	1~6	実習	小賀	呼内	OSCE 実習（身体診察・手技、シミュレータ実習、医療面接）、検査診断、画像診断、外科入門、電子カルテ入門 等
評価方法							
[その他]100% (OSCE 実習は共用試験 OSCE で評価する。その他の実習は出席状況・受講態度・実習の到達度等を総合的に評価する。) [評価方法]出席・受講態度評価、OSCE、実習態度評価 [備考]【OSCE 実習】50/100 点 共用試験 OSCE において評価カテゴリーの全てが「C」以上であれば 40 点、評価カテゴリーが「A」に 2 ポイント、「B」に 1 ポイントを割り振り 10 点を按分する。 【その他実習】50/100 点 出席状況・受講態度・実習の到達度等を総合的に評価する。また、実習によってはレポートやリアクションペーパー等によって到達度を評価する。							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
1. レポートは、教員の指示に従って作成すること。レポートに生成 AI を使用する場合は、「川崎医科大学の生成 AI 取扱い指針」に従い、使用した生成 AI の種類、引用箇所、prompt 内容を提示すること。 2. 生成 AI の内容には虚偽が含まれている可能性があるため、必ず自ら根拠や裏付けを確認すること。							
教科書							
ISBN-9784896329131, 診察ができる vol.1 身体診察, 医療情報科学研究所 (編集), メディックメディア, 2023/7 ISBN-9784896329247, 診察ができる vol.2 鑑別診断, 医療情報科学研究所 (編集), メディックメディア, 2024/4							
参考書							
共用試験ガイドブック (共用試験実施評価機構)							
準備学習 (予習・復習等)							
<予習について> ・実習前に、配布された関連資料や指定された参考書で予習すること。 ・事前に共用試験実施評価機構の教育用動画配信サイト (臨床実習入門ガイダンスで案内予定) に掲載の動画を視聴して予習してから実習に臨むこと。 <復習について> ・実習中に学んだ内容を共用試験実施評価機構作成の動画を見返しながら復習すること。 ・指定された期間に M-610 実習室・M-611 実習室などを利用し、手技の反復練習を数時間かけて行うこと。							
講義についての注意事項							
1) 臨床実習入門は講義も含めて全出席を原則とし、無断欠席者に対しては共用試験 OSCE の受験資格を与えない。 2) 実習の進め方や注意事項等の詳細については、ガイダンス時に説明する。							
昨年度からの変更点・改善項目							
共用試験 OSCE の合格を以て科目に合格としていたが、OSCE の評価を点数に変換し、その他の実習においても出席状況・受講態度及び到達度等によって総合的に評価を行い、科目全体での評価を行う。							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について							
臨床実習開始のために必要な医学知識・技能・態度や医療面接法を身につけるための基本科目である。本科目習得後に学ぶ臨床実習Ⅳ・Ⅴ履修のために必要な学問である。							
ナンバリング							
DTIC417							